

平成27年12月 経営協議会議事録

- I. 日 時 平成27年12月17日(木) 15時00分～17時23分
- II. 場 所 千葉大学けやき会館レセプションホール(3階)
- III. 出席者 徳久学長、赤田、有馬、犬養、加賀見、香藤、黒木、島田、銭谷、西堀、
舩橋、正宗、中谷、渡邊、松元、安村、猿渡、宮崎、山本、金原各委員
- がざー 桑古監事
(欠席者：河田、武藤、堀、酒井各委員)

- IV. 前回審議議事録について
原案のとおり承認された。

V. 審議事項(◎学外委員、○学内委員)

1. 第3期中期目標・中期計画(原案)について
中谷理事から、資料に基づき説明の後、審議の結果、承認された。
主な意見は以下のとおり。

- ◎ 女性教員の採用比率について、各企業が、平成28年4月1日に施行される女性活躍推進法の規定に対応するために、女性が働きやすい環境を提供するシステムやノウハウを持っていると思われるので、情報交換をすることで、アイデアを得られ、大学にとって良い結果に繋がるのではないかと。
- ◎ 就職後に求められるスキルである、語学力、論理的説明力、分析力、問題発見力を育むために、アクティブラーニング型の科目数について学部別に目標を設定して欲しい。

VI. 報告事項

1. 平成26年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
中谷理事から、資料に基づき説明があった。
主な意見は以下のとおり。

- ◎ 大学のレベルを上げていくために、高校とのコンソーシアム、特に科学教育について、高校と一体になった取り組みをすることは非常に重要であり、人文系、文化系も含めて、少なくとも千葉県内の主要高校と、より広い、さまざまな形での連携を構築し、高校教育を充実させていくことが重要である。

2. 平成28年度概算要求について
猿渡理事から、資料に基づき説明があった。
主な意見は以下のとおり。

- ◎ オーストラリアでは、高等教育は国の中心となるような、国の将来と非常に深く結びついているので、留学生の授業料を少し高めに設定したうえで、留学生を増やして収入源とした。その結果、国の予算に頼らずに、設備を良くし、現在では、教育サービスが鉄鉱石と農産品に次ぐ、国の第三の輸出品目となっているので、日本でも将来そのような方向を目指すのが良い。

◎ 千葉大学に来たいと思うカリキュラムを作り、その授業に関しては、高い授業料とすることも大事で、海外から、ある講座だけを専門に持ってきても良い。そういう部分だけを学びたいという留学生はいると思う。

一番大事なのは、特徴ある教育部門で、工学部や、医学部など、そこに向かっていくだけの留学生をとっても良い。それが呼び水になるかもしれない。

また、時代に逆行するようだが、やはり正規教員を増やすべきではないか。臨時で人を増やしていくやり方が今の風潮かもしれないが、千葉大は千葉大らしく正規教員でしっかり地固めをしていくべきだと思う。

3. 平成27年度科学研究費助成事業の配分について
松元理事から、資料に基づき説明があった。

4. 千葉大学における教育改革の現状について
小澤副学長から、資料に基づき説明があった。

以上